

【新規就農者】 富田さん（就農時40歳）

【移住のきっかけ】

- ・茨城県土浦市出身、大学を経て東京で就職。
- ・マルシェ出店の関係で鉾田市の農家さんと出会う。
- ・農家さんと話をするうちに、農業に興味を持ち、就農を決意。
- ・農家での研修をするために15年住んだ東京を離れ、鉾田市に移住。

【なぜ就農しようと思ったのか】

- ・農家さんとの話で農業の魅力を知り、就農意欲が高まった。
- ・一次産業である農業ならば、将来的に絶対残ると考えたため。
- ・農産物を作り、販売することに魅力を感じたため。
- ・約1年間研修を行い、農地の確保ができたことで独立。



【就業形態】 独立自営就農（露地野菜）

【作物】 キャベツ、白菜、人参、  
小松菜、ほうれん草

【経営面積】 約290 a

【活用した事業】 農業次世代人材投資事業  
銚田市新規就農者支援事業 等



### 【移居前】

- ・ 会社勤務で休みの自由がきかない。
- ・ 自分の意見が反映できない。
- ・ 都内は人が多くごみごみしている。
- ・ 時間に追われる生活。



### 【移住後】

- ・ 自身の判断で自由に休みが取れる
- ・ 経営に関して自己責任が伴うが、すべて自身で判断できる
- ・ 自然に囲まれ、四季の変化を感じられる

銚田市は茨城県南東部にあって、県都水戸と鹿島臨海工業地帯のほぼ中間に位置し、北は涸沼、東は太平洋、西は北浦に面しており、首都から90km圏内にある自然に恵まれた地域である。

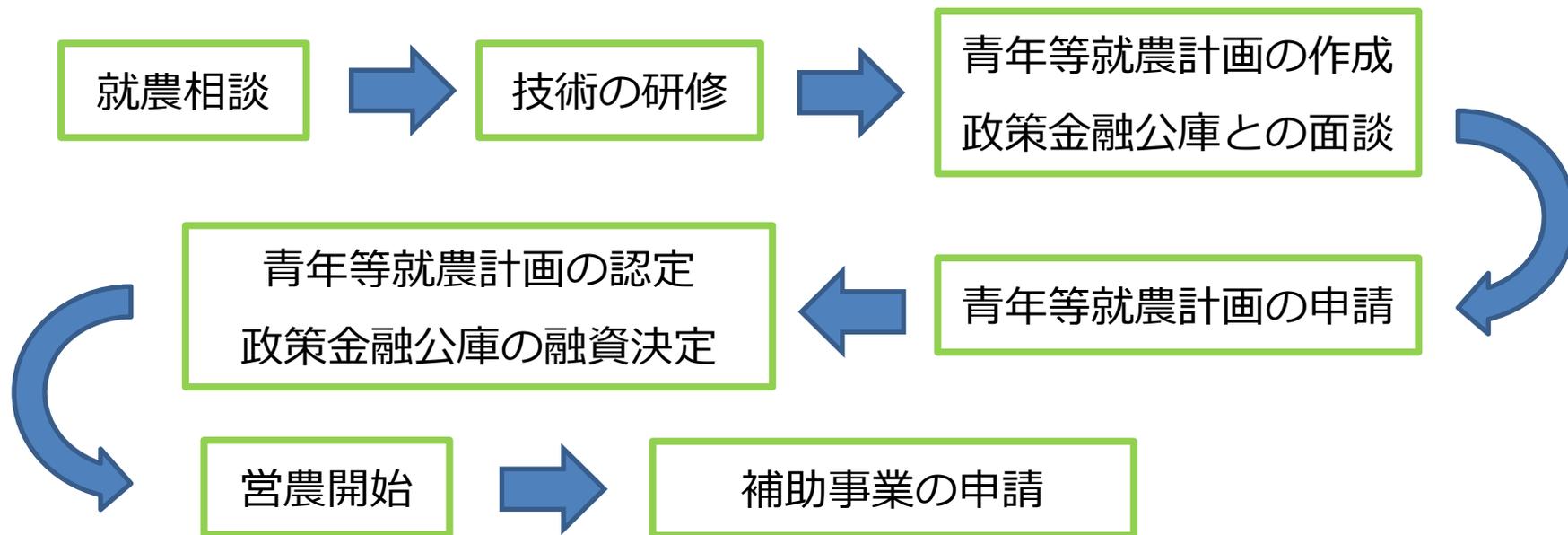
- 【主な作物】 露地野菜（甘藷、人参、大根、馬鈴薯）  
 施設野菜（メロン、イチゴ、トマト、葉物等）  
 稲作  
 畜産（養豚、酪農等）  
 様々な農産物・農業形態で就農可能。

- 【農地】 農家数が多いため、空き農地が少ない状況。  
 銚田市で就農を目指すならば、市内農家等で研修し、技術を学び、研修先から農地を紹介いただくのが一番の近道。



就農前の相談段階から農業改良普及センターと連携し、就農までに行うべきことの指導を行い、就農後も継続してサポートを行っている。

【相談から営農開始までの流れ】



【主な支援制度（補助事業）】

- ・ 農業次世代人材投資事業
- ・ 銚田市新規就農者支援制度

## 【制度概要】

就農直後となる新規就農者は、機械・設備への投資や農地の確保、技術の習得、所得の安定化等、農業経営に対して様々な課題を抱えていることから、新たに農業経営に意欲をもって取り組もうとする新規就農者の負担を軽減し、経営の安定化及び経営規模拡大の促進を図るために、認定新規就農者を対象として、機械・設備への投資や農地の賃借料について支援します。

事業内容	補助率・補助上限	備考
農地賃借料 支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1/2以内</li> <li>・ 10 aあたり5,000円</li> <li>・ 補助上限 5万円</li> </ul>	<p>【対象外となるもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第三親等以内の親族が所有している農地の賃借</li> <li>・ 農地中間管理機構との貸借契約に係る手数料</li> <li>・ 物納によるもの</li> <li>・ 相対による賃借</li> </ul>
機械設備等 支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1/3以内</li> <li>・ 補助上限 30万円</li> </ul>	<p>【対象外となるもの】</p> <p>種苗費、肥料費、飼料費、農薬衛生費、租税公課、動力光熱費、作業用衣料費、荷造運賃手数料、農業共済金等</p>